

発送書類

発送書類① アンケート用紙(基本調査)

※発送文書の一例です。

**水銀含有製品実態等調査
アンケート用紙**

医療機関・分析機関等用

以下の設問に回答をお願いします。回答は、該当する項目に○をつけるか、かっこ内に御意見を御記入下さい。
調査結果については、個別の回答内容がわからないようにして、集計結果を公表します。
なお、回答内容についてお問い合わせすることがあります。また、事前に御都合をお聞きした上で個別にお伺いし、聞き取り調査を行わせて頂くこともあります。

アンケート締切 平成23年11月30日(水)
回答方法 郵送のほか、インターネットに接続してウェブ上で
及び回答先 回答することもできます。(詳細は別紙のとおり)

施設名 _____ 代表者名 _____
担当者名 _____ 連絡先 _____

1 水銀柱血圧計及び水銀体温計の保有及び廃棄状況

(1) 保有の有無
現在「水銀柱血圧計」又は「水銀体温計」を保有していますか？

水銀柱血圧計	有	・	無	
水銀体温計	有	・	無	

※両方とも「無」の場合は裏面(4)に記入して下さい。

(2) 保有数
(1)で、どちらかでも「有」に○をつけた方にお聞きします。
保有数と、そのうち今でも使っている数を教えてください。
(過去1年以内に一度でも使っていれば「使用」とします。)

水銀柱血圧計	保有数 { }	台	(うち使用数 { } 台)
水銀体温計	保有数 { }	本	(うち使用数 { } 本)

(3) 今後の使用
(2)で、どちらかでも現在使用している方にお聞きします。
現在、血圧計と体温計については電子式が普及していますが、今後も水銀式を使い続けますか？その理由もお教え下さい。

水銀柱血圧計	使い続ける	・	将来は使わない	
その理由	正確だから・安価だから・使い慣れているから			
	水銀を使うから・高価だから・入手困難だから			
	その他 { }			

(裏面に続く)

1 / 4 ページ

水銀体温計	使い続ける	・	将来は使わない	
その理由	正確だから・安価だから・使い慣れているから			
	水銀を使うから・高価だから・入手困難だから			
	その他 { }			

(4) 過去の廃棄量
これまでに水銀柱血圧計等を廃棄したことがありますか？
それはどのくらいの数で、どのような方法ですか？
※平成20年度以降の廃棄とします。(わかる範囲で結構です。)

水銀柱血圧計	ある	・	ない	
廃棄数	{ }	台		
廃棄方法	一般ごみとして・産業廃棄物として メーカー又は販売元に返却・わからない その他 { }			

水銀体温計	ある	・	ない	
廃棄数	{ }	本		
廃棄方法	一般ごみとして・産業廃棄物として メーカー又は販売元に返却・わからない その他 { }			

(5) 今後の廃棄予定
(1)で、どちらかでも「有」に○をつけた方にお聞きします。
今後1年以内に、それらを廃棄する予定はありますか？

水銀柱血圧計	有	・	無	
水銀体温計	有	・	無	
廃棄数	水銀柱血圧計 { }	台		
	水銀体温計 { }	本		
廃棄方法	一般ごみとして・産業廃棄物として メーカー又は販売元に返却・わからない その他 { }			

(「2 意識調査」に続く)

2 / 4 ページ

発送書類② アンケート用紙(意識調査)

※意識調査については、医療機関、大学、専門学校及び分析機関に対して実施しました。

施設名

2 意識調査

※これ以下の設問には施設(団体)としてではなく、担当者個人としてお答えください。

(1)水銀の性状
水銀は「常温で液体である唯一の金属」です。御存知でしたか?
 知っていた ・ 知らなかった

※参考:水銀の性状について
 沸点357℃、融点-38.9℃、密度13.534g/cm³(20℃)

(2)水俣病との関連
水俣病の原因となった物質は「メチル水銀」であり、血圧計等に使用されている物質は「金属水銀」です。御存知でしたか?
 知っていた ・ 知らなかった

※参考:金属水銀とメチル水銀について
金属水銀
 飲んでも毒性はほとんどありません。しかし蒸発しやすく、蒸気を吸い込むと発熱や呼吸困難などの症状が出る場合があります。
メチル水銀
 飲み込むとすぐに体に吸収されます。脳にも作用し、中枢神経系の障がい等が起こることがあります。

(3)破損時の取り扱い
水銀柱血圧計や水銀体温計が破損し、水銀がこぼれた場合、どのように対処すればよいか御存知ですか?
 知っている ・ 知らない

※参考:金属水銀がこぼれた時は?
 蒸気を吸い込んだり素手で触ったりすると吸収してしまうため、ゴム手袋をはめて集め、密封できる容器に入れて屋外に保管しましょう。
 集める方法は、「もみがら」のようなものと一緒を集める、ガムテープを使う、銅線(電源コードの中身など)にくっつける、などがあります。

(4)廃棄方法
水銀を含む製品を廃棄する際には、どのようにすればよいか御存知ですか?
 知っている ・ 知らない

※参考:水銀柱血圧計、水銀体温計の廃棄について
 現在のところ、一般家庭から排出される体温計等については、市町村によって収集方法が異なります。また、事業活動に伴って排出されるごみは、産業廃棄物として、事業者が処理しなければなりません。間違ったごみの出し方だと、水銀が環境中に排出されてしまうことがあります。詳しくは、貴施設の所在する市町村にお尋ねください。

(裏面に続く)

3 / 4 ページ

3 その他

水銀柱血圧計や水銀体温計、水銀の削減などについて、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

{

}

アンケートへの御協力、ありがとうございました!

※参考資料

・水銀柱血圧計と水銀体温計の生産・輸入数量 単位:個

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
水銀柱血圧計	34,285	24,492	24,710	43,724
水銀体温計	803,000	612,000	-	-

出典:薬事工業生産動態統計年報(厚生労働省医政局)
 ※平成20年以降の水銀体温計の数量は不明です。

・水銀使用量
 水銀柱血圧計・・・1台あたり約50g
 水銀体温計・・・1本あたり約1g

お問合せ先 **熊本県環境生活部環境政策課 矢野**
 TEL:096-333-2263(ダイヤルイン)
 E-mail:kankyouseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

4 / 4 ページ

発送書類③ アンケート用紙(歯科診療所追加分)

**水銀含有製品実態等調査
アンケート用紙(歯科診療所追加分)**

歯科診療所用

・以下の設問に回答をお願いします。回答は、該当する項目に○をつけるか、かっこ内に御意見等を御記入下さい。
 ・調査結果については、個別の回答内容がわからないようにして、集計結果を公表します。
 ・アンケート本紙と同じ方法で御返送下さい。

医院名 _____ 代表者名 _____
 担当者名 _____ 連絡先 _____

○ 歯科用水銀アマルガムの保有及び廃棄状況

(1) 保有の有無
 貴医院では「歯科用水銀アマルガム」を保有していますか?
 保有している場合は、その量と平成20年度以降の使用量をお教え下さい。

数値記入上の注意 ・金属水銀の重さとして記入して下さい。(以下同様)
 (例)アマルガム重量g×水銀の割合%÷100=水銀の重量g

歯科用水銀アマルガム 有 ・ 無
 ※「無」の場合は裏面(3)に記入して下さい。

「有」の場合 保有量 []g
 平成20年度以降の使用量 []g

(2) 今後の使用
 (1)で保有していると回答された方にお聞きます。
 今後も歯科用水銀アマルガムを使い続けますか? その理由もお教え下さい。

使い続ける ・ 料金は使わない

その理由 安全だから・安価だから・使い慣れているから
 健康影響の懸念・高価だから・入手困難だから
 その他 []

(裏面に続く)

1 / 2 ページ

(3) 過去の廃棄量
 貴医院では、これまでに歯科用水銀アマルガムを廃棄したことがありますか?
 それはどのくらいの量で、どのような方法ですか? わかる範囲でお答えください。
 ※平成20年度以降の廃棄とします。

アマルガムの廃棄 ある ・ ない
 「ある」の場合 廃棄量 []g

廃棄方法 一般ごみとして・産業廃棄物として
 メーカー又は販売元に返却・わからない
 その他 []

(4) 今後の廃棄予定
 (1)で保有していると回答された方にお聞きます。
 今後1年以内に歯科用水銀アマルガムを廃棄する予定はありますか?

廃棄予定 有 ・ 無
 「有」の場合 廃棄量 []g

廃棄方法 一般ごみとして・産業廃棄物として
 メーカー又は販売元に返却・わからない
 その他 []

アンケートへの御協力、ありがとうございました!

お問合せ 熊本県環境生活部環境政策課 矢野
 TEL:096-333-2263(ダイヤルイン)

2 / 2 ページ

発送書類④ アンケート用紙(薬局追加分)

**水銀含有製品実態等調査
アンケート用紙(薬局追加分)**

薬局用

・以下の設問に回答をお願いします。回答は、該当する項目に○をつけるか、かっこ内に御意見を御記入下さい。
 ・調査結果については、個別の回答内容がわからないようになり、集計結果を公表します。
 ・アンケート本紙と同じ方法で御返送下さい。

薬局名 _____ 代表者名 _____
 担当者名 _____ 連絡先 _____

○ 販売用製品の在庫及び販売状況

(1) 取扱いの有無
 貴薬局では、商品として「水銀柱血圧計」又は「水銀体温計」を取り扱っていますか?
 取り扱っている(または取り扱っていた)場合は、在庫数と、平成20年度以降の販売数をお教え下さい。
 (わかる範囲で結構です。)

水銀柱血圧計 有 ・ 無
 「有」の場合 現在の在庫数 [] 台
 販売数 H20年度 [] 台
 H21年度 [] 台
 H22年度 [] 台
 H23年度 [] 台 (9月末まで)

水銀体温計 有 ・ 無
 「有」の場合 現在の在庫数 [] 本
 販売数 H20年度 [] 本
 H21年度 [] 本
 H22年度 [] 本
 H23年度 [] 本 (9月末まで)

(裏面に続く)

1 / 2 ページ

(2) 今後の取扱い
 (1)で取り扱っている(いた)と回答された方にお聞きします。
 現在、血圧計と体温計については電子式が普及していますが、今後も水銀製の製品を商品として取り扱いますか? その理由もお教え下さい。
 既に取扱いをやめられた方は、やめた理由をお教え下さい。

今後も取り扱う ・ 取扱いをやめる(やめた)

その理由 需要がある・安価・性能が良い
 需要が無い・水銀使用・高価・入手困難
 その他 []

アンケートへの御協力、ありがとうございました!

お問合せ 熊本県環境生活部環境政策課 矢野
 TEL:096-333-2263(ダイヤルイン)

2 / 2 ページ

発送書類⑤ アンケート用紙(大学・分析機関等追加分)

水銀含有製品実態等調査 アンケート用紙(大学・分析機関等追加分)

大学・分析機関専用

以下の設問に回答をお願いします。回答は、該当する項目に○をつけるか、かっこ内に御意見等を御記入下さい。
 ・調査結果については、個別の回答内容がわからないようにして、集計結果を公表します。
 ・アンケート本紙と同じ方法で御返送下さい。

校(社)名 _____ 代表者名 _____
 担当者名 _____ 連絡先 _____

○ 金属水銀又は水銀試薬の保有・使用状況

貴校(貴社)では、金属水銀又は水銀を原料とした試薬を保有していますか(いましたか)?
 保有している(いた)場合は、その種類、量、平成20年度からの使用量をお教え下さい。
 (わかる範囲で結構です。) ※有効数字2桁で御記入下さい。

金属水銀 有 ・ 無
 「有」の場合 現在の保有量 { }g
 使用量 H20年度 { }g
 H21年度 { }g
 H22年度 { }g
 H23年度 { }g (9月末まで)

水銀試薬 有 ・ 無
 「有」の場合 ※試薬の量は金属水銀に換算してください。

試薬名称	保有量g	使用量(年度毎)g				代替の 可能性
		H20	H21	H22	H23	

※H23年度は9月末時点のデータを御記入下さい。 ※別紙添付可
 ※現在使用している試薬を、水銀を使用しない試薬に替えることができる可能性があるものについては、「代替の可能性」欄に○をつけてください。(今すぐ水銀の使用を制限するものではありません。)

アンケートへの御協力、ありがとうございました!

問合せ先 熊本県環境政策課 矢野
 TEL:096-333-2263(ダイヤルイン)

発送書類⑥ アンケート回答の提出方法について

※発送文書の一例です。

(別紙)
水銀含有製品使用実態等調査について(依頼)【アンケートの回答方法】

アンケート回答の提出方法について

今回のアンケート調査にご回答いただく際、下記のいずれかの回答方法をお選びください。

1 郵送

アンケート用紙にご記入後、同封の返信用封筒にてご返送ください。

〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18-1
熊本県 環境生活部 環境政策課 担当:矢野 宛

2 FAX

アンケート用紙にご記入後、下記FAX番号宛に送信してください。

熊本県 環境生活部 環境政策課
FAX 096-383-0314(24時間OK)

3 メール

アンケート用紙にご記入後、下記のメールアドレス宛に送信してください。
下記のホームページより回答用紙データ(Excel)がダウンロードできます。
<http://kumamoto-hg.net/hos/>

熊本県 環境生活部 環境政策課
kankyouseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

4 WEBフォーム

ホームページ(パソコンを使ってのWEBフォーム)からの回答も可能となっております。下記のホームページよりアクセスのうえ、ご回答ください。

回答専用ホームページ
<http://kumamoto-hg.net/hos/>

環境への配慮のため、極力電信での御回答に御協力お願い致します。

お問い合わせ

熊本県 環境生活部環境政策課
(担当:矢野・江橋)

☎096-333-2263(ダイヤルイン)
FAX 096-383-0314

kankyouseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

提出期限

2011年

12/14水 必着

医療機関・分析機関用

(別紙)
水銀含有製品使用実態等調査について(依頼)【アンケートの回答方法】

アンケート回答の提出方法について

今回のアンケート調査にご回答いただく際、下記のいずれかの回答方法をお選びください。

1 郵送

アンケート用紙にご記入後、同封の返信用封筒にてご返送ください。

〒860-0805 熊本市桜町3-35-1F (株)サンコー・コミュニケーションズ 内
水銀含有製品使用実態等調査事務局 担当:内田

2 FAX

アンケート用紙にご記入後、下記FAX番号宛に送信してください。

水銀含有製品使用実態等調査事務局[(株)サンコー・コミュニケーションズ内]
FAX 096-355-3387(24時間OK)

3 メール

アンケート用紙にご記入後、下記のメールアドレス宛に送信してください。
下記のホームページより回答用紙データ(Excel)がダウンロードできます。
<http://kumamoto-hg.net/dnt/>

水銀含有製品使用実態等調査事務局[(株)サンコー・コミュニケーションズ内]
data@kumamoto-hg.net(24時間OK)

4 WEBフォーム

ホームページ(パソコンを使ってのWEBフォーム)からの回答も可能となっております。下記のホームページよりアクセスのうえ、ご回答ください。

回答専用ホームページ
<http://kumamoto-hg.net/dnt/>

環境への配慮のため、極力電信での御回答に御協力お願い致します。

お問い合わせ

▼提出先とは異なりますのでご注意ください。

熊本県 環境生活部環境政策課
(担当:矢野・江橋)

☎096-333-2263(ダイヤルイン)
FAX 096-383-0314

kankyouseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

提出期限

2011年

12/14水 必着

歯科診療所用